学校番号	219

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	文学国語　（大修館書店）						
副教材等	大学入試　国語頻出問題１２００［五訂版］（いいずな書店） 古文単語　覚えるぞ　３２１（尚文出版） プレミアムカラー　国語便覧　改訂版（数研出版）及び　準拠ワーク 古典の手引き（いいずな書店）及び　定着ノート 速読＋要約＆語彙チェック １レベル A 及びB（尚文出版） 速読＋要約＆語彙チェック ２レベル B（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

昨年度に引き続き、この科目では、様々な年代の文学的文章に触れ、それぞれの作品を通して、「読む力」と「書く力」を身につけましょう。授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動も行います。課題に対し積極的に参加してください。

2　学習の到達目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語力を高めるとともに、文学作品の趣向や表現の味わいを感じ取り、作品を通して自らの考えを深める。また、言葉を適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質や文体の特徴、修辞などの表現技法について理解を深める。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	言葉による世界の多様なとらえ方に着目する。 自然と人間との関係における言語表現の魅力を味わう。 ［教材］ 桜の中で、時が重なり合う	a：言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える c：作者の思いを理解し、自分の体験等と関連付けながら「飛ぶこと」について考え意を深めようとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
	独特の文体や非現実的な展開のおもしろさを味わう。 寓話的な作品を読み、批評性や象徴性をとらえる。 ［教材］ 赤い繭	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：作品のもつ寓意性や、その表現方法の特徴について考えを深めようとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
	登場人物の感覚から事物の多用なとらえ方を知る。 文体の特徴に着目し、その効果について考える。 ［教材］ 檸檬	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
二学期	明治という時代背景・舞台設定の意味を考える。 登場人物の境遇と心情を理解する。 ［教材］ 舞姫	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：・時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わおうとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
	登場人物の視点をとおして、作品の世界を批判的にとらえ、想像を広げる。 多彩な文章表現を味わい、言葉の感性を磨く。 ［教材］ 待つ	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：登場人物のものの見方を押さえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
三学期	時代を超えて共感できる作品にあらわれた主題の重層性を学ぶ。 芸術作品を鑑賞する基礎力を養う。 ［教材］ 伊豆の踊り子	a：　人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察

		c:作品の構造に興味をもち、日常とは異なる世界への想像を広げながら、作品を読み味わおうとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５～２０　）時間

・読むこと　…　（　５０～５５　）時間